

「 小児造血細胞移植患者における肝類洞閉塞症候群（SOS）に対する活性化プロテイン C（APC）製剤の治療効果に関する解析 」 へのご協力をお願い

旭川医科大学病院小児科では造血細胞移植を実施した患者さんを対象に「肝類洞閉塞症候群（SOS）/肝中心静脈閉塞症（VOD）に対する活性化プロテイン C 製剤の有効性」に関する研究を実施しています。この研究は造血細胞移植後の肝 SOS/VOD の治療に役に立つと考えております。

研究課題名	小児造血細胞移植患者における肝類洞閉塞症候群（SOS）に対する活性化プロテイン C（APC）製剤の治療効果に関する解析
研究の対象	2000～2022 年までに小児造血細胞移植を行った患者さんのうち SOS を発症した方
研究の目的・方法 （試料・情報の利用目的及び利用方法）	造血細胞移植後に肝 SOS/VOD を発症した小児患者における APC 製剤の有効性を検討します。
研究期間	（倫理委員会承認後） ～ 2025 年 3 月 31 日
研究に使用する試料・情報の項目	患者情報（性別、移植時年齢、病名、生年月日）および診療情報（移植時病期、移植回数、移植実施年、前治療など）、治療経過など
試料・情報の取得方法	上記について各患者の診療録（カルテ記載）より入手します。
共同研究機関と研究責任者 試料・情報の提供先の機関 （名称と機関の長の名称）	本研究は旭川医科大学病院および神奈川県立こども医療センター（研究責任者 柳町昌克）で実施されます。
本研究の情報の管理について責任を有する者・所属	旭川医科大学長 西川 祐司
本研究開始予定日	2024 年 6 月 20 日

本研究はヘルシンキ宣言（2013 年 10 月 WMA フォルタレザ総会での修正版）及び人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（2021 年 6 月 30 日施行 2023 年 3 月 27 日一部改正）、個人情報の保護に関する法律等に従って実施され、患者さんの個人が特定できる情報とは切り離れたうえで使用し、個人情報が外部に漏れることがないようにします。また、プライバシーにも十分に配慮して行います。

研究の成果は関係の学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できることはありません。

本研究は神奈川県立こども医療センター診療科内研究費から研究資金を受けて実施しております。研究者は企業等から独立して計画を立案し実施いたしますので、本研究の結果および解析等に影響を及ぼすことはありません。又は、開示すべき利益相反はありません。

本研究の対象となる患者さんご自身やご家族でお子さんの情報は利用しないでほしい等のご要望がございましたら、下記連絡先までご連絡ください。この研究においてはあなた又はあなたのお子さんの情報は使用しませんし、既に情報を抽出しているときは削除します。その場合も診療において不利益を被ることはございません。この研究で収集した情報を、この研究の計画時点では特定されない将来の研究に二次利用することがあります。その場合は、あらためて研究の代表となる施設の承認を受けた上で用います。尚、公表後等は情報の削除ができないことをご了承ください。

本研究についてお尋ねになりたいことがございましたら下記連絡先にお問い合わせください。個人情報等に支障のない範囲で研究計画書を閲覧することもできますのでお申し出ください。また、苦情等の相談窓口はこども医療センター総務課倫理委員会事務局です。

連絡先 当院研究責任者 旭川医科大学病院
腫瘍センター 更科 岳大
Tel : 0166-65-2111 内線 3232

連絡先 研究代表者 地方独立行政法人神奈川県立病院機構
神奈川県立こども医療センター
血液・腫瘍科 柳町 昌克
Tel : 045-711-2351 内線 2212

相談窓口 地方独立行政法人 神奈川県立病院機構
神奈川県立こども医療センター
総務課 倫理委員会事務局
Tel : 045-711-2351 内線 2212

けんきゅう きょうりょく ねが 研究への協力のお願い



あさひかわ い か だいがくびょういんしょうにか
旭川 医科大学 病院 小児科 では 「小児造血細胞移植患者の肝類洞閉塞症候群（

えすおーえす たい かっせいか しーせいざい ちりょうこう か かん かいせき
SOS）」に対する活性化P-19C製剤の治療効果に関する解析」について

けんきゅう おこな けんきゅう おこな おな びょうき かんじゃ ちりょう やく
研究を行っています。この研究を行うことで同じ病気の患者さんの治療に役
た かんが
に立つと考えています。

1 テーマ 造血細胞移植患者の肝SOSに対する活性化P-19C製剤の有効性

2 この研究で皆さんにお願いしたいこと

「造血細胞移植を受けた人の検査の結果や入院中のカルテ情報の使用
」

きょうどうけんきゅうき かん かながわけんりつ こども いりょう センター血液・腫瘍科
共同研究機関 神奈川県立こども医療センター血液・腫瘍科

けんきゅうき かん りんりいいんかいしょうにん ねん がつ にち
3 研究期間 倫理委員会承認から2025年3月31日まで

けんきゅう ひと さらしな たけおせんせい
4 研究をする人 更科 岳太先生



この研究は、研究に関するいろいろな決まりを守って行います。皆さんの個人

じょうほう かも けんきゅう けっか はっぴょう
情報やプライバシーを守り、研究の結果を公表することがありますが、その時も誰

のことかわからないように発表します。自分のことは研究に使わないでほしいと思う

ときは、せんせい いえ ひと つた とき けんきゅう つか
ときは、先生や家の人に伝えてください。その時は研究に使うことはありません。

つか せんせい い びょういん しんさつ ちりょう かんごし いりょう
使わないでほしいと言っても、病院での診察や治療、看護師など医療スタッフの

たいおう か けんきゅう あつ じょうほう しょうらいほか けんきゅう つか ばあい
対応は変わりません。この研究で集めた情報を、将来他の研究に使う場合もい

ろいろな決^きまりを^{まも}って^{おこな}行^{ねが}います。よろしくお願^{ねが}いします。



れんらくさき けんきゅうせきにんしゃ しょうにか きらしなだけ お
連絡先 研究 責任者 小児科 更科 岳 大

でんわ：0166-65-2111